



呉やけやま病院

「患者さま」「ご家族」「地域」「医療」
4つの想いをひとつに



病院案内パンフレット



理念

健全で健康な 人生を応援します

基本方針

- 患者さま、家族の方々の立場に立ちあたたかく思いやりのある病院を目指します。
- 自己研鑽につとめ、能力の向上を図り責任ある医療・看護を目指します。
- 生命の尊厳と人権を守り、患者さま、家族の方々に信頼され 職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

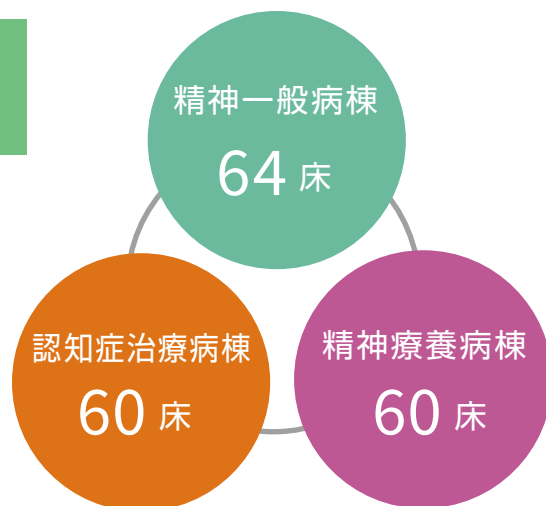




診療科目

精神科・心療内科・内科
リハビリテーション科

病棟機能



指定機関

保険医療機関
 精神科療養取扱機関
 生活保護法指定医療機関
 精神保健指定機関
 原爆被爆者指定医療機関
 中国残留邦人等の医療支援指定機関

ごあいさつ

呉やけやま病院は「健全で健康な人生を応援します」を基本理念とし、その実現のために最良の支援を提供することを目指しています。高齢化が進み、認知症患者さまの増加が見込まれる現在、患者さまが実り多き幸せな人生を送れるよう支援し、またそれを抱えるご家族の方の当たり前の生活を守れることが重要だと考えます。当院は、患者さまやご家族の方々が真に何を求めているのかを追求し、その時々に応じて提供できる最良の支援を理論的かつわかりやすく提示します。そして、その中で何が最適かをご家族の方に寄り添い、共に考えていきます。地域に根ざした精神科病院として、地域の医療・介護・福祉に貢献することを目標に掲げ努力してまいりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

病院長
森 和彦





やけやま 7つのプラン

当院では患者さま、家族の方々の立場に立ち
あたたかく思いやりのあるケアを目指します。

高齢者の約4人に1人が認知症またはその予備軍と言われ、2025年には約700万人に達すると言われてい
ます。これに対応するために、厚生労働省は認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい
環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す「新オレンジプラン」を掲げました。当院では
この新オレンジプランへの取り組みを通して、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに貢献していきます。

1 地域の皆さまに認知症に
関する理解を深めるための
活動を積極的にを行います。



職種問わず、全職員が「認知症サポーター」※1となって普及・啓発活動を行います。サポーターの印となる「オレンジリング」を身につけ、多くの人に認知症への理解を求めます。

※1…認知症サポーター養成講座を受講し、認知症に対して正しい付き合い方を理解し、自分のできる範囲で認知症の人をサポートする人

2 認知症に対する最適な
ケアが提供できるよう
専門知識を高めていきます。



容態の変化に応じて医療・介護等が有機的に連携し、適時・適切に切れ目なく提供されなくてはなりません。そこで、当院では診療、看護、介護などの各分野ごとに従事する職員の認知症に関する専門性をより高めていきます。そのため研修の受講や、認定等の資格取得などを積極的に推進します。

3 老年性だけでなく若年性
の認知症にも対応します。



認知症として一緒に扱うのではなく、老年性と若年性の違いを明確にし、それぞれに最適な対応ができるよう職員体制の確立をめざします。

4 ご家族の方の不安を
少しでも取り除けるように
支援していきます。

介護者が介護に関するさまざまな相談ができる「認知症カフェ」を用意して、介護者の不安を少しでも取り除けるよう努力いたします。また、「認知症家族の会」へも積極的に参加し、介護者への支援を行っていきます。



5 行政や地域の医療機関と
連携して 高齢者が暮らし
やすい地域を実現します。



地域との連携をより強固なものにするため、行政・医療機関が、保健医療・介護機関等との連携を強化し、認知症の医療と介護の切れ目ない提供等を行うことを目的とした「広島県呉江田島地区認知症疾患医療連携協議会」に参画し、高齢者の暮らしやすい地域を実現します。

6 認知症の予防法や治療方法、
リハビリテーションの方法
などを研究し、よりよい医療・
看護を目指します。



認知症の予防には、生活習慣の改善と脳機能のトレーニングが必要です。これらを継続することは認知症の予防につながります。また認知症は、治療やケアを行うことで進行の速度を遅くしたり、出ている症状を軽減させることができます。薬物療法やリハビリテーションを通じて、ご本人が自立した生活を送れるようにサポートします。

7 認知症の患者さまやそのご家族の
立場に立ち、あたたかく思いやり
のある病院を目指します。



認知症の人やその家族の視点を認知症施策の企画・立案や評価に反映させるため、患者さまや介護者の目線でのサポートを常に心がけます。また、介護者の方には「安心」して患者さまをおまかせいただくと自負しております。

新オレンジ プランとは

2015年1月に厚生労働省が発表した「認知症施策推進総合戦略」の俗称です。このプランでは、「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続ける社会の実現を目指す」ことを基本的な考え方としています。つまり、認知症の人が単に支えられる側と考えるのではなく、認知症とともにより良く生きていくことができるような環境を整備することを目的としています。

外来診療と入院のご案内

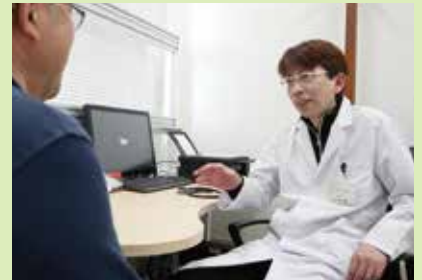
■ 診療科目

精神科・心療内科・内科・リハビリテーション科

■ 外来診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00					
午後	—	—	—	—	—	—

※日曜日・祝日休診 ※予約制となっております。お電話にて事前予約をお願いいたします。



外来診療・入院のご相談は
地域移行連携室
が窓口です

お気軽にご連絡ください

☎0823-33-0511 FAX 0823-34-1366

入院までの流れ

相談

判定

患者さまの状況をもとに、入院加療が必要か否か医師が判断します。

日程調整

入院日時など決まりましたら、連絡をいたします。

面談 もしくは お電話

患者さまの状況などをご家族や関係者にお聞きします。

外来受診

主治医が診察を行います。担当スタッフより病棟を説明します。

入院

いろいろな問題を共有しながら、安心いただける入院治療のお手伝いをいたします。

入院相談は、必ず事前に相談日時を予約してください。

患者さまのご家族（責任者の立場にある方）ができるだけご来院くださいますようお願いいたします。

DOCTOR PROFILE

病院長

森 和彦

もり かずひこ

〔診療分野〕

精神科・心療内科

〔資格〕

精神保健指定医

日本老年精神医学会 指導医

日本精神神経学会 専門医

医学博士

〔略歴〕

広島大学医学部 卒業(1992)

副院長

板阪 英俊

いたさか ひでとし

〔診療分野〕

内科・外科一般

〔資格〕

日本肝臓学会 肝臓専門医

日本外科学会 専門医

日本消化器学会 指導医

〔略歴〕

九州大学医学部 卒業(1986)

三神 正昭

みかみ まさあき

〔診療分野〕

精神科・心療内科

〔資格〕

精神保健指定医

臨床研修指導医

日本医師会 認定産業医

日本精神科医学会 認定専門医

〔略歴〕

愛媛大学医学部 卒業(1995)

細川 哲也

ほそかわ てつや

〔診療分野〕

精神科・心療内科

〔略歴〕

広島大学医学部 卒業(1991)

西崎 淳

にしざき じゅん

〔診療分野〕

精神科・心療内科

〔資格〕

日本精神神経学会 専門医 指導医

日本精神分析学会認定 精神療法医

日本集団精神療法学会認定

グループサイコセラピスト

〔略歴〕

川崎医科大学医学部 卒業(1991)



精神一般病棟

● 2 病棟 ● 64 床



作業療法やリハビリで生活能力の拡大に重点

2 病棟は精神一般病棟の男女混合閉鎖病棟です。(一般病床：56 床／保護室：8 床) 入院病棟で、急性期・慢性期・回復期・身体合併症と様々な年齢層と病態の患者さまが入院治療されています。精神科医療だけではなく、患者さまの個別に沿った看護を実践しています。

病棟の特徴として、脳血管リハビリと運動器リハビリを行い、機能回復や維持に努め、少しでも早く地域での生活が送れるよう取り組んでいます。また、多職種との情報共有を行い、効率的に専門職が介入することで患者さまに沿った退院先を考え支援していけるよう努め、ご家族さまから信頼を得られる援助を目指しています。



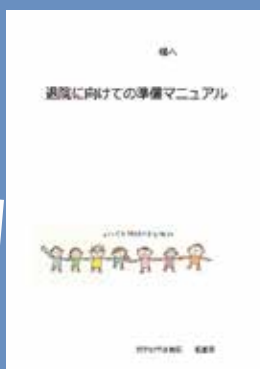
ベッドサイドでのリハビリテーション



患者さまとの相談風景

患者さま一人ひとりの状態に合わせた
マニュアルを使用し退院支援を行っています。

患者さま、ご家族に「退院に向けての準備マニュアル」というパンフレットをもとに、目標を決めて、その問題点を解決しながら一緒に地域生活への円滑な移行に向けて、一緒に取り組んでいます。



認知症治療病棟

● 3 病棟 ● 60 床



多職種の連携・協働で、 患者さまが笑顔で過ごせるように

病床数は 60 床。認知症治療病棟は厚生労働省が策定したオレンジプランに基づき認知症の精神症状 (BPSD) が増悪し、在宅療養が困難となった患者さまを積極的に受け入れ、多職種が連携して治療を行う病棟です。

患者さまが入院された後は、専門的な薬物治療、非薬物治療 (生活機能回復訓練、精神科作業療法等) が開始されます。治療開始直後より退院を見据え、患者さまの退院後の生活をご家族と共に多職種で考えていきます。そして「患者さまが落ち着いて笑顔で過ごせる」病棟を目指しております。



お茶会の一コマ



多職種によるカンファレンス

専門病院だからできること

残存機能能力の維持・向上

活動性の維持・向上

日常生活リズムの構築

本人とご家族の休養

廃用予防

情緒の安定化

環境調整

BPSD の軽減

生活機能回復訓練 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
9:00 ~11:00	朝の会 (ロコモ・唱歌・体操・筋トレ)				
	映画鑑賞会、懐歌の会、玉入れ、輪投げ、ポケットボール、的当て、風船バレー、創作・学習				
14:00 ~16:00	作業療法 (書道・絵手紙・調理・塗り絵・計算・工作) 音楽療法、ミニ喫茶				

精神療養病棟

● 4病棟 ● 60床



日常生活の援助を行い、地域移行を目指します

4病棟は、60床の精神療養病棟です。大部屋が5床（2室）、4床（10室）、2床（1室）、個室が1床（8室）の計60床です。患者さまの高齢化に伴い、身体・精神機能の維持向上を図りながら社会復帰を支援しています。

専門的な援助 SST（社会生活技能訓練）の他に、作業療法・個人プログラム等、一人ひとりの能力や興味を考え、それに沿った活動を実施して患者さまをサポートしています。



レクリエーション（カラオケ）



試験外出（共同生活住居の見学）

自分の健康状態をチェックしましょう



健康で自分らしい
療養生活を送って
いただくために



月に1回“やまごや”という会を開催しています。そこでは、体重・血圧測定を行っています。測定した値は、自身の健康管理を目的に、患者さま自らが“健康カード”に記入しています。また、集団の中で患者さまがどのように過ごしていくか、意見交換をする場ともなっています。

専門スタッフがチームでサポートします



医療安全管理者

事故予防のために環境を整備し、安心・安全な病棟生活が送れるように携わっていきたく思います。



生活療法指導員

患者さま一人ひとりの QOL（生活の質）を高めて、多くの患者さまの社会復帰への援助をしていきます。



認定看護管理者 ファーストレベル

“患者さまファースト”をモットーに多職種が連携・協働できる体制を構築し、患者さまをサポートしていきます。



災害支援ナース

豪雨災害がきっかけで資格を取りました。災害看護の知識を深めて、災害時に動けるように自己研鑽に努めています。



認定排泄専門員

“排泄”は生活の基盤の一つであり、その人の尊厳に大きく関わります。一人ひとりに適切なケアを提供していきたくです。



コグニサイズ指導者

患者さまが一日一日を笑顔で過ごすことができるように、認知症ケア、認知症予防に取り組んでいます。





リハビリテーション

精神科作業療法、SST（社会生活技能訓練）

作業療法士による多彩な訓練を通じて
機能向上や作業能力の改善をお手伝いします。

さまざまな作業を通して、病気による生活の不自由さを軽減するだけでなく、本人のライフサイクルにとって意味のある生活を維持するための生活技能の獲得・社会復帰のお手伝いをします。



作業療法（調理）



作業療法（編み物）



作業療法（風船パレー）



生産的活動（木工）

疾患別リハビリテーション

（脳血管疾患等、運動器疾患等）

生和会グループが長年にわたり蓄積してきた
リハビリテーションのノウハウを活用しています

グループ内のリハビリテーションに特化した福山リハビリテーション病院や広島中央リハビリテーション病院などと研修会や勉強会などを合同で開催しており、情報共有をして、患者さま一人ひとりに合わせた最適なリハビリができるように専門知識を高めています。



ニューステップ

上肢も下肢も全身運動できる機器。運動による生理的・心理的反応を活用し、有酸素運動、筋力強化、バランストレーニングを実施しています。



電動昇降式チルトテーブル

寝たきりの患者さまに対して立位への順応改善、下肢筋力の増強、ストレッチ等を目的に利用します。



認知症患者リハビリテーション

当院では認知症治療病棟にて、OT（作業療法士）による、個別で集中的なリハビリテーションを行っています。

定期的な医師の診察結果に基づき、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士の多職種が協働して、患者さま一人ひとりのニーズに合わせたリハビリテーションを日々行っております。



〈運動療法〉姿勢矯正



〈運動療法〉可動域訓練



〈運動療法〉筋力トレーニング



〈運動療法〉キャッチボール



認知トレーニング



〈学習療法〉認知トレーニング

リハビリテーション機器を一部紹介



電動アシストサイクルマシン

ペダルの動きをアシストします。体力のない人でも、無理なく股関節の運動やひざ関節の屈伸運動が行えます。



さまざまな下肢装具

身体の一部を外部から支え、運動能力の向上や疼痛の軽減を図るものです。



乾式ホットパック

ホットパックと呼ばれるもので体を温める治療をすることがあります。これは温熱療法の1つになります。痛み・肩こりなどに効果があります。



上肢運動台 プーリー

椅子もしくは車いすに腰を掛けた状態で、頭上の滑車に通したロープ両端の握り棒を持ち、両手を交互に上げ下げする運動です。

精神科デイ・ケア



豊かな自然環境のなかで ゆったり ゆったり 一歩ずつ…

精神科デイ・ケアとは、つらい悩みや症状を抱えた方がグループ活動を通して人との関わり方を学びながら、その人らしく地域の中で生活できるようにそれぞれの目標や課題に取り組んでいく場所です。さまざまな活動に、お好きな時に参加していただくことができます。

サービス内容

- 社会生活技能訓練
- 園芸や買い物などの屋外活動
- 四季折々の季節に合わせた行事・イベントへの参加
- 地域のボランティアのご協力により手工芸や書道、調理などの体験講座
- 最寄り駅・バス停、ご自宅までの送迎も可能です(送迎無料)

対象となる方

- ついつい家に引きこもってしまう
- 退院したばかりで自信がない
- 仲間が欲しいけどチャンスがない
- 体力をつけたい
- 規則正しい生活を送りたい
- 自分の時間を上手に使いたい

※このような方で、一人でサービスを受けることができる方

一日を通した生活リズムを整えられることがメリットの **精神科デイ・ナイト・ケア** もございます。

活動日時 火曜日・木曜日 8:30～18:30
※祝日を除く

1日の流れ

日々来られるご利用者さまに合わせたプログラムをご用意しております。

- 8:30 送迎
- 10:00 検温・ラジオ体操
利用者プログラム確認
午前プログラム開始
- 12:00 午前プログラム終了
- 12:30 昼食
- 13:00 休憩
- 14:00 午後プログラム開始
(手工芸、書道、買い物、
脳トレ、ウォーキング等)
- 15:30 午後プログラム終了
ラジオ体操
利用者・スタッフで
後片付け、清掃、
利用者次回参加日の確認
- 16:00 送迎

※ご利用者さまの状況により変更する場合がございます。

活動日時

10:00～16:00 月曜日～土曜日

※日曜日・祝日を除く

訪問看護



専門スタッフが ご自宅へうかがい 精神面や生活全般をサポートします。

精神面などの看護的なサポートだけでなく、金銭面などを含めた生活全般を支援します。利用可能な社会資源の情報提供や、必要に応じて、ご本人・ご家族の同席のもとで福祉サービス利用の手続きを市役所や施設で行います。また、就労支援のサポート等も行っています。



サービス内容

- 服薬・睡眠・食事などの生活指導
- 金銭管理の助言
- 余暇の過ごし方についてのサポート

対象となる方

- 退院後の方
- 通院が困難な方
- ご家族から依頼があった方

活動日時

8:45～17:00 月曜日～土曜日

※日曜日・祝日およびお盆・年末年始、夜間は実施しておりません。



生活にしっかり寄り添い、 より良い毎日を共に作る

日中の生活の場や安心して穏やかに過ごせる場を提供するとともに、一人ひとりの状態に応じたプログラムを作成し、心身の健康を維持し、在宅生活を継続していくため、医師と共に症状の軽快や心身機能の回復を目指します。医療保険でご利用いただける認知症の方のためのデイケアです。

サービス内容

介護

医学的管理と共に食事、排泄、入浴等の基本的な生活援助など、一人ひとりに対してどのようなアプローチがよいのか…日々勉強しながら対応してまいります。

認知症

日々変化する症状に対して日中の活動や他者交流を通して、専門的な知識を持ったスタッフが対応し、症状の軽快・改善を図ります。

リハビリ

専門スタッフが個々の心身の状態に応じた機能回復訓練を行い、症状の進行防止、残存機能の回復・維持向上を目指します。

家族相談

ご本人さまへの直接的援助はもちろん、ご家族さまの相談にも対応しております。

1日の流れ

日々来られるご利用者さまに合わせたプログラムをご用意しております。

8:30	送迎
9:30	ウェルカムドリンク 健康チェック 談話
10:00	リアリティ オリエンテーション 新聞読み聞かせ・体操 レクリエーション・入浴
11:45	口腔体操 昼食準備
12:00	昼食
13:30	体操・レクリエーション 入浴
15:00	コーヒータイトム・談話
15:30	送迎

※ご利用者さまの状況により変更する場合がございます。

対象となる方

- 認知症と診断された方
 - 呉市、またはその近隣にお住まいの方
- ※このような方で、一人でサービスを受けることができる方

活動日時

9:30～15:30 月曜日～土曜日

※日曜日・祝日・年末年始を除く ※送迎時間を除く

精神科デイ・ケア／重度認知症患者デイ・ケア／訪問看護 対応可能エリア

患者さま、ご利用者さまのペースにあわせた
社会復帰の準備をお手伝いいたします。

施設や広々とした敷地を生かしてさまざまな活動を行う精神科デイ・ケア、重度認知症患者デイ・ケア、専門スタッフがご自宅を訪問する訪問看護をご利用ください。

精神科デイ・ケア／重度認知症患者デイ・ケア

- ▶ エリア内の利用者の方のご自宅まで送迎します。

訪問看護

- ▶ エリア内の利用者の方のご自宅まで、スタッフ2名が訪問します。

ご利用方法・料金

詳しくは当院のお問い合わせ窓口にご相談ください。



地域の和を大切に…



認知症予防へ向けた運動

コグニサイズとは、国立長寿医療研究センターが開発した認知症予防運動のことで、運動をしながら頭で計算やしりとりを同時に取り組む体操です。やまカフェ内で実施しておりますので、ぜひご参加ください。



介護者が介護に関するさまざまな相談ができるカフェです

「豊かな暮らしをみんなで作ろう」を合言葉に、認知症サポートプレイス「やまカフェ」を定期的に開催しています。



青空のもと、ゆっくりと読書をされてはいかがでしょうか。

院内の芝生広場を開放し、地域交流のため図書館を開設しております。読書をされたり、お話ししたり、憩いの場として是非ご利用ください。

関連病院・施設



福山
リハビリテーション病院



介護老人保健施設
ゆめの村



福山リハビリテーション病院グループ
介護複合施設
さくら並木
介護付有料老人ホーム グループホーム 通所介護事業所



グループホーム
やまびこの里

呉やけやま病院

〒737-0924 広島県呉市焼山南1丁目8-23

TEL 0823-33-0511 (夜間)

HP www.kureyakeyama-mh.jp



電車でお越しの場合 JR 呉線呉駅で下車タクシー 20~30分 JR 呉線矢野駅で下車タクシー 20~30分

車でお越しの場合 広島呉道路天応西 IC より県道 66 号線に入る (約 30 分)

バスでお越しの場合 JR 呉駅前バス停 (1 番乗り場) から苗代・下条行きバス約 30 分、久次郎原バス停下車徒歩約 100m